

2022年度事業活動方針案、計画案

特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブてとて

コロナ禍であらためてわかったのが、地域のつながりの大切さです。地域の力が今こそ求められています。生活クラブと共に、地域を豊かに支える拠点作りを進めていきます。

また、地域と連携し、必要とされる地域資源となるよう努めます。協同労働という働き方を地域に伝えていきます。

みんなで運営する事業所らしく、提案や意見を自由に出し合い、意見交換をし、コミュニケーションを取り、これからの地域に必要な事業を展開していきます。

「てとてで働く仲間」と「てとての活動を支える仲間」を増やします。ワーカーズらしく、多世代が自分らしく活躍できる場であり続けます。

(1) 地域コミュニティ事業

1. 生活クラブ生協福祉事業運営（委託事業）

- 生活クラブの福祉事業であるみんなの居場所「わ〜くわっく北本」を事業主体の生活クラブ生協とともに運営していきます。居場所の価値や機能を発信し、地域に必要とされる居場所づくりを目指して、協議を重ねます。
- 生活クラブ組合員活動と連携し、生活クラブの「たすけあい活動方針」に則って活動します。
- 医療生協さいたまとの連携事業を継続します。
- 居場所に足を運びたいくなるような様々な仕掛けを用意し、新規利用者を増やしていきます。
- 地域との繋がりづくりになる活動を検討、実施します。
- 子どもの居場所づくりを進めます。
- 居場所利用者の多様な課題に対応する為、研修を行います。
- 感染対策を徹底し、利用者、スタッフともに安心できる場を提供します。
- 食を通して利用者との交流をはかるため、食スタッフによる料理教室を積極的に開催していきます。

2. 居場所関連事業

- 居場所内の棚・壁面を生活クラブから貸借し、手作り作品の発表・販売の場としての棚貸しなど有効に活用します。
- 「みんなの本棚」を継続し、さらなる発展に向けて活動します。

- ・ 居場所事業から生まれた繋がりを継続、発展させ、地域に開かれた事業を展開していきます。

3. きたもとこども食堂活動計画

- ・ コロナ感染状況を考慮しつつ、一堂に会するこども食堂の再開を目指します。
- ・ フードパントリー・お弁当配布・学習支援を継続します。
- ・ 地域とのつながりを作り、地域での子育てを支援する社会的資源となることを目指します。
- ・ 各種助成金の申請や地域からの寄付や応援に対応し、活動資金の獲得を目指します。

(2) 地域生活サポート事業

お互いさまのたすけあいの気持ちで、利用会員がその人らしく地域生活を続ける手助けを行うことを目的とし、利用会員の立場に立ったサービスを提供します。

生活さぽーと事業

サービス提供時間 700.0

時間

- ・ 利用会員の希望を尊重しながら、その個人の地域生活に応じた必要なサービスを提供します。
- ・ 利用会員の日々の生活を支える一員であるという意識を持ち、依頼された仕事に誠実に対応します。
- ・ 利用会員との会話も大切なサポートであり、身体の変化や暮らしの変化の気づきがあれば、スタッフ同士や他機関とも情報を共有し、よりよいサポートができるよう務めます。
- ・ スタッフ間の定期的な話し合いや研修の機会を持ちます。

(3) 地域福祉ネットワーク作り事業

1. 生活クラブたすけあい支援事業

- ・ 生活クラブからエコロ制度熊谷ブロックエコロコーディネート、生活クラブ共済「ハグくみ」の加入者へのサービス提供を受託し、たすけあいの仕組み作りに参画します。(委託先が CCS から変更)
- ・ エッコロ制度の組合員同士のたすけあいが成立しない場合、ワーカーズ利用補助制度として依頼者にサービスを提供します。
- ・ エッコロコーディネーターミーティングの運営委員を選出し、エコロ制度の運営状

況を把握し、役割課題などについて提案します。

2. であい館（北本生活館）管理受託事業

- ・ であい館（北本生活館より名称変更）管理業務（利用者予約受付・掃除・設備管理など）、および防火管理業務を生活クラブ生協より受託し業務を行います。

3. 生活クラブ組合員支援活動

- ・ であい館協議会に参加し、「まちづくり構想」の具体的実現に協力します。
- ・ であい館を利用する組合員・支部・連等と連携し、生活館の賑わいを生む活動を支援します。
- ・ 誰もが「まちづくり構想」に沿った利用ができる場所になるよう、利用者の意見をであい館協議会に伝えていきます。
- ・ 生活クラブ生協および組合員とともに、であい館を拠点にした地域のつながり作りを進めていきます。
- ・ であい館まつりに協力します。

4. 講師派遣・人材育成事業

- ・ 他団体からの依頼に応え、子育て支援・地域福祉などの講師を派遣します。
- ・ 幅広い世代の実習や体験の場を提供します。
- ・ スタッフのスキルアップのための資格取得等、働く意欲を後押しします。

5. 埼玉ワーカーズコレクティブ連合会の活動

- ・ 福祉部会・食部会・エリア会議・サポートチーム会議に参加し、ワーカーズ運動の促進、ワーカーズコレクティブ間の情報共有・連携に努め、私たち自身がともに成長するための活動に参加します。
- ・ 「労働者協同組合法」の施行を目前に控え、法人格の取得について学習を進め検討します。

6. その他の活動

- ・ 生活クラブ生協熊谷ブロック地域協議会に参加します。
- ・ 公的な掲示板、SNSを活用した広報を行います。
- ・ 積極的に学習会、交流会などに参加します。
- ・ 行政を始め、北本市社会福祉協議会など地域団体からの要請に積極的に応じ、地域の社会資源としての存在をアピールしていきます。

(4) 福祉有償運送事業

サービス提供回数

140回

- ・ 多様な利用会員のニーズに応え、安全・安心出来るよう対応します。
- ・ 利用会員の安全な移送のため、内部研修を行います。
- ・ 情報共有と、てとてとしての支援の方向性を統一するための移送会議を定期的に行います。
- ・ 行政他公的機関と連携して受け入れ態勢を充実させるとともに、新規利用会員の獲得を目標と指します。
- ・ 福祉車両を安全に運行するために、定期的点検整備を行います。

(5) 埼玉県障害児(者)生活サポート事業

サービス提供回数

550回

- ・ 多様化する利用会員の障害特性を理解して、支援センター他公的機関と連携を取りま
- す。
- ・ 安全を第一に利用会員のニーズに応え、頼られ信頼されるサービスを提供するよう努め
- ます。

(6) 総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)

北本市介護保険課と協議しながら、総合事業のサービス提供の可能性を探ります。